

委員会の進め方について（第6回委員会振返り）

委員会でエリア別の課題や具体的取組みについて意見をいただく

村松周辺

幼保跡地

細浦青畝

事務局でエリア別の方針を整理

エリア別の方針（案）
を委員会へ提示

村松地区周辺地域
活性化計画
中間報告
（H30年3月頃）

平成29年度の予定

⇒本計画対象エリアが有する地域資源が異なることから、エリア別の方針を定め、これを以って計画の中間報告を行う。

エリア別の方針を定める狙い

地域活性化の推進に当たって、エリアの目指すべき姿が統一され、ひとつひとつの取組みを地域の将来像を実現するための手段として考えることができる。また、将来的に本エリアの情報発信・PRを行う際、各エリアの個性を判別しやすくなる。

現在（第8回）の委員会

⇒村松周辺エリア及び幼保跡地エリアについて議論を行ったところ。JAEAの所有地について報告を受け、村松周辺エリアの軸の再設定の必要性を含め議論を行い、中間報告のまとめ方について共通理解を図る。なお、次年度以降、具体的な取組みの検討・実行するに当たって、これまでの意見を参考とすることも可能。

平成30年度以降の予定

⇒エリア別の方針に基づき、具体的な取組みの推進について検討する。各エリアの将来像を実現するために、どのような取組みが必要か、“時間軸”や“取組みの緊急度”を考慮した上で取組みの優先度を考える。